

# のうね Noun+ PLUS

のうね

人と地域をつなぐ情報誌

夏号

まちづくり通信 MAIL BOX

放課後子ども教室in  
のうねの郷コミュニティセンター

## 葉っぱ寿司づくり 7/28(木)

講師：元井眞理子さん 参加者：6名  
永平寺町や鳴鹿地区で、お盆やお祭りに作られる「葉っぱ寿司」。  
おにぎりにした酢飯に、しょうがと酢漬けにしたマスをのせ、きれいに包むコツを教えてもらいながら葉っぱで包んでいきました。「持って帰って家族みんなで食べる！」と嬉しそうに話していました。

炊き立てご飯に甘酢を混ぜて…  
たくさん混ぜるの難しい(≧▽≦)



**編集後記**  
第7波のコロナ禍と共に入った夏休みも、あと少しですね。今年の夏の思い出は何かでしたか。まだまだ残暑厳しい日々の中、炎天下の外出時には、これまでのコロナ対策(基本のマスク・手洗い・うがい・3密)や熱中症対策にも気を付け、体調を整えましょう。今は、マスク美人の私達ですが、必ずアフターコロナがやって来ます。いつか来るマスクとさよならする時のために、「あれ、こんなお顔だったかな？」と思われぬように、マッサージや体操で表情筋を鍛え口角を上げてください。よろしくお願いいたします。  
K じょうほう部会4年目

\* 放課後子ども教室 \*  
酢飯を包むのに悪戦苦闘！？  
「葉っぱ寿司」を作りました(P.8)

## 新しい「タッジー」挑戦している南さん



南 美智代  
(みなみ みちよ)  
丸岡町畑中  
幼保園などに30年余り勤め、退職を期に作詞兼歌い手「みのん」として音楽活動。また近年はものづくりに多才性を発揮している。

前号の表紙に掲載された見事なサクランボを栽培されている、畑中區に住んでおられる南さん宅に、再度取材をお願いし、色々な果樹栽培に取組んでおられる想いを尋ねてきました。  
ご自宅の畑や庭にはサクランボをはじめ、クワ、ブルーベリー、イチジク、キウイ、リンゴやウメ等々が栽培され、他にも何種類ものハーブが植

えられていました。初めの頃は、それらの果樹の実を使ってジャム作りをしていましたが、ジャムだけではなくシフォンケーキにも入れてみてはどうかなどと挑戦。そのシフォンケーキも当初は趣味程度でしたが、5年前に保健所に申請書を出して商品として販売するまでに、現在は「ゆりの里」「れんげの里」「一筆啓上茶屋」で販売されているとのこと。また最近では、畑で作っているハーブを使って、タッジーマッジーを作ったり、ラベンダードライフラワーを使い茎にテープを巻いていく。ラベンダーバンドルズ、という匂い袋のようなものも作っておられるそう。お伺いしたその日もちょうどラベンダーのドライフラワーバンドルズをつくっておられ、夏らしい色合いとラベンダーの香りから清涼感をいただきました。



※タッジーマッジー  
西洋で、悪臭や伝染病から身を守るために持ち出しハーブで作った小さな花束

上茶屋」で販売されているとのこと。また最近では、畑で作っているハーブを使って、タッジーマッジーを作ったり、ラベンダードライフラワーを使い茎にテープを巻いていく。ラベンダーバンドルズ、という匂い袋のようなものも作っておられるそう。お伺いしたその日もちょうどラベンダーのドライフラワーバンドルズをつくっておられ、夏らしい色合いとラベンダーの香りから清涼感をいただきました。

## これからの予定

- ☆10月9日(日) 丸岡古城まつり
- ☆10月30日(日) 豊原フットバス体験会
- ☆10月29日(土) 長畝地区区長会 避難所開設運営訓練
- ☆12月上旬～1月下旬 霞の郷イルミネーション ★冬バージョン★

## 霞交番からのお知らせ

- 1 畑の作物盗難に注意！  
例年、夏から秋にかけて、ニンニク・スイカ・メロン・桃・柿等の盗難被害が発生！作物を早めに収穫するとともに、盗難防止用ネット、防犯カメラ、人感センサーアラーム等の資機材を設置するなど、盗難未然防止策をお勧めします。
- 2 福井県自転車条例の制定(7月1日から施行)  
①自転車保険等の加入が義務  
ご家族が加入されている自転車保険等で、補償対象となっている場合がありますので保険内容を確認してみましょう。  
②ヘルメットの着用、自転車の点検整備  
自転車乗車時のヘルメット着用、乗車前の点検等が努力義務となりました。自分の命は自分で守りましょう。  
坂井警察署 霞交番 66-0110(内線503)

## CONTENTS

- ✓ 特集 — 未来につなげるバトン…P.2～3
- ✓ トピックス…P.4～5
- ✓ 歴史の場所を歩く⑳…P.7

# 地域活動に若者の チカラとアイデアを

～未来につなげるバトン～

今回チャレンジコーナーとして、丸岡高校地域協働部の企画・協力のもと、人間すごろくを開催しました。

人間すごろくは、巨大サイコロを回して人が進むゲームです。子どもたちはもちろん、大人も大いに盛り上がっていました。混みあったときには、高校生のみんが率先して人数の整理をしたり、流れが悪い所を改善しながら、楽しんで貰えるような工夫をしてゲームを進行していました。将来、長畝の地域づくりに有望な高校生たちです。

## 高校生の声

小学生にゲームの説明をわかりやすく伝えるために、ゆっくり話したり、わかりやすい言葉を使って教えることを心がけた。やり終えて、コミュニケーションをとることができ、大きな達成感を得られた。

まず、地域の人々が温かい。説明してくれた大人の方がとてもやさしく、子どもたちもあんなに暑かったのに笑い声がたえなかった。人とかかわることの大切さを学んだ。

## 参加してみても...

今回の経験から、いろいろな行事に参加するときに、丁寧な受け答えや、やることのないかを積極的に聞いたり周りを見れる人間になりたい。地域の良さを知ることができいろんな人に伝えていきたい。

今回のボランティアで、私は誰かが笑っている姿を見ることが好きなんだと気づいたので、これからもこのような活動に参加していきたい。

ここでもアイデアを借りています！

8月4日  
(木)

## 放課後子ども教室 in のうねの郷コミュニティセンター 丸岡高校生と学ぶ「おもしろサイエンスラボ」

丸岡高校生の生徒が先生となり「スライム作り」に挑戦！

作り方の説明を聞いてさっそく開始。液体を混ぜていくとだんだん固まっていき見た目もブルブルなスライムができあがりました。伸ばしたり広げたり握ったりと子どもたちはいろいろと形をかえながら、楽しく遊んでいました。



地域をよくしたいと行動する若者を地域の大人たちが支え、支えられた若者たちがまた次の世代にバトンをつなぐ...  
そんなバトンリレーができる長畝地区になるようまち協でサポートしていきたいと  
思います。

# 2022いこっか あおっか やろっか

5月29日(日)、新型コロナウイルス感染対策を行いながら、長畝小学校グラウンドで開かれました。久々の開催とあってか、大いに力を発揮し楽しく競技に参加されていました。ご協力ありがとうございました。

(文:ふれあい部会)

準備運動は  
しっかりしましょう！



## 《1種目目》 のうねドリブル選手権

青い手足が出る巨大風船をかぶってラグビーボールをドリブルしてリレーする競技をしました。



## 《2種目目》 ディスクゴルフ

フライングディスクを何投で専用ゴールに入れるかを競う競技です。坂井市では、海浜自然公園にディスクゴルフコースが有り、これから注目される競技です。



## 《3種目目》 はっけよいのこった

巨大バルーンで上半身をすっぽり覆われ、お相撲する競技です。バルーンの中に入っているため、直接あたることもなく男女関係なく対戦でき、見ていても力が入る競技でした。



## ボランティア活動 災害時炊き出し講習会

令和2・3年度とコロナ感染拡大防止のため、坂井市赤十字奉仕団丸岡分団は、団員一同が会しての実技等の活動がままならない状況でした。4年度においては、コロナ感染拡大防止を考慮し地区別研修会を実施しました。

長畝・竹田地区においては去る6月17日(金)に団員18名がうねの郷コミセンにてハイゼックス調理実習を実施しました。実際の災害時にどのように進めていけるだろうかとの不安解消にはまさに訓練の重要性を再確認しました。

日赤奉仕団丸岡分団長畝・竹田地区の団員はこれからも赤十字の「人道・博愛」精神に基づきボランティア活動を地域の皆様と共に進めていきたいと考えております。

地域の皆様には日赤奉仕団に対しまして更なるご理解とご協力を頂き一人でも多くの方の入団を願っています。

(文:日赤奉仕団)

※ハイゼックス調理とは袋を使用しての調理です。



## 安心安全なまちづくり 夜の長畝地区をパトロール

うねの郷づくり推進協議会では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により縮小または中止をしていたパトロール車による安全パトロールを夏季期間の7月7日(木)から本格的に再開しました。

安全パトロールは、当郷協会員、長畝地区区長会、郷協推進委員、のうねっ子見守り隊員の各団体の協働作業による活動で、長畝地区内の犯罪防止、少年非行防止、交通事故防止、更には、災害危険箇所の見廻り等を目的に実施しております。青ランプを点灯し、坂井市の歌「しあわせの花」の音楽を流しながら長畝地区内のパトロールをしています。

パトロールしている姿を見掛けましたらお声掛けして頂ければ幸いです。

(文:あんしん・ふくし部会)



## 夏 第14回ラジオ体操の会 の風物詩!早朝から汗流す

7月16日(土) 新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、恒例のラジオ体操の会を長畝小学校グラウンドで開催しました。連日の雨模様でしたが、この日は晴れて気持ちの良い朝となり、多くの方の参加をいただきました。

まず最初に、中田成裕先生の指導のもとウォーミングアップ、続いてラジオ体操とさすがに気持ちの良い汗をかきました。

その後、坂井警察署と霞交番所の方から交通安全の指導をして頂きました。特に、今年7月から自転車の運転についての法改正があり、真剣に聞いていました。最後に児童5人による交通安全五つ目の近いを唱え、会を終わりました。

今年の夏も、交通安全や健康に気を付けて過ごしましょう。

(文:ふれあい部会)

## 豊原史跡整備作業 山道をスッキリ整備

7月18日(月・祝) 豊原史跡整備作業を行いました。夏休みに豊原史跡を訪れる方々のためと、10月30日(日)開催予定の「豊原古道フットバスツアー」事前準備ということで例年この時期に行っております。今回は、豊原史跡内の旧白山神社周辺、山城山城址、化生ヶ岳参道と深沙大王祠、豊原滝周辺と史跡に至る道の草刈りを行いました。天気にも恵まれ、ふるさと部会員とサポートの皆さまのご協力をいただき無事作業を終えることができました。ご協力いただきました皆さまご苦労様でした。ありがとうございます。長畝地区の皆さま、森林浴に、歴史の探索にぜひ豊原史跡にお越しください。

(文:ふるさと部会)



## あんしん福祉マップ作り 高齢者を支え合う地域づくり

長畝地区の区長会、福祉委員、民生委員・児童委員の協働作業として、今年7月30日(土)に「あんしん福祉マップ作り」を実施しました。

まずは、各団体の構成員が、各地区内に住んでおられる高齢者方を把握しながら、安否確認のため見守りが必要な家屋を住宅地図内にマーキングしました。

この活動は、各委員が連携して定期的に訪問し、安否確認とあわせ悩み事の相談を聞く等して、高齢者の不安を少しでも解消します。また、災害時の際の救護や支援をする方の把握など、多目的に利用されています。

今後はこの活動を通じ、高齢者を支え合うすばらしい地域づくりに役立つことを願っています。

(文:あんしん・ふくし部会)



## さかい未来創造座談会 長畝地区の現状を知る

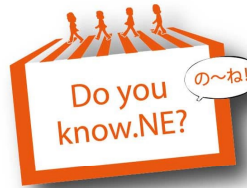
8月2日(火)のうねの郷コミュニティセンターで「さかい未来創造座談会」が行われました。池田市長が直接住民の声に耳を傾け、要望や意見、提案を聞いていただけるということで、まち協や区長会、長畝小学校ほか各団体から13名の参加がありました。

参加者からは、各区の要望から、少子高齢化問題、歴史文化にかかわることなど、幅広く意見や要望が出されました。1時間30分というとても短い時間でしたが、とても実のある座談会でした。



# 宝歴3年創業。 約270年の歴史ある酒蔵会社

～「辛口」の伝統を守りながらも時代に合わせた酒造り～



久保田酒造では、湧き出る地下水を使い、蔵近くの田んぼで自社栽培した酒米を使い、麴造りも自社で行い、すべてを地元でこだわった地酒造りを行っている。最近では、日本酒だけでなく、梅やゆずを使ったりキュールづくりを行うなど、幅広い年代に好まれる酒造りを目指している。また、福井県立大学生物資源学部と共同研究も行っており、大学が開発した福井での栽培に適した酒米・山田錦の新品種を使った試験醸造に協力するなど、譲れない伝統を守りながらも時代に合わせた新しい取り組みにもチャレンジしている。



大吟醸「駒ヶ瀬屋」や純米生原酒「鬼作左」など、30種類もの“久保田酒造”の味を決めている杜氏の上出博栄（かみひろえ）さん（あわら市、52歳）は、「辛口で、米本来の持つふよかな香りが広がることを意識している」と酒へのこだわりを話す。杜氏歴18年となる上出さん。「若い人にお酒を飲んでもらいたい。初めて日本酒を口にすると若い人が飲んで「おいしい」と言ってもらえる、酒を造りたい」との思いを語る。数値化により酒造りの精度が上がってきているが、最後は人の熱意で酒の味が決まると、杜氏と7人の蔵人が一体となり、飲む人に最高の酒を届けたいと日々励んでいる。

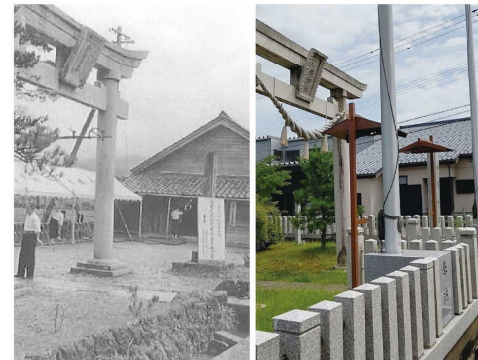


フォトアルバム  
あの日 あの時  
あの場所  
なつかしの写真館



▲S48.9.1 乗兼分校開校式

幼稚園から小学4年生までの5学年が通ってました。校舎横に見える、つつかえ棒が懐かしいです。二つの学年が同じ教室で習う複式学級でした。4年生は先生から教えてもらっている時、3年生は、一人一台の機器で自習してました。今思うと新システムだったんですね。



▲玄女分校

▲現在

※地域の方よりお借りした写真を掲載しております。



## 歴史の場所を行く④ 竹田川の曲流のこと （玄女・里竹田の七曲り）

前は千田地区あたりでしばしば堤防が決壊して、災害をもたらす川であった。昭和六十六年にダムが完成してからは、堤防決壊による洪水の被害はなくなった。上の写真は昭和二十四年から始まった竹田川改修工事以前に撮影されたものである。写真の上の部分の集落が玄女区、下方が里竹田区である。まるで蛇がたうっているような壮絶な流れだったことがわかる。山から流れ出てきた流れは、今も里竹田橋を過ぎ

右の写真を見てもらいたい。竹田川が玄女区と里竹田区と間をうねりながら流れている様子である。この辺りを以前は「七曲がり」と言っていた。



竹田川は丸岡東部の標高1000mの加越山地から坂井平野を横切り、三国で九頭竜川に合流して日本海にそそぐ一級河川であることは誰もが知っている。以

ると突然北方から東に向かつて流れを変えているが、以前はもっと激しくうねっていたことがわかる。この辺りは西方の河和田、長屋の集落がある辺りが段丘をなしていて標高が高くなっていて、その手前で丸岡からの田島川が流れ込んでくる。また、少し下流の次郎丸では権世川が、さらにその下流では熊坂川が合流する。竹田川の流れは低いところを求めてあちこちにうろうろ流れたものと思われる。このため、七曲がりの手前では堤防決壊による氾濫が絶え間なく起きた。竹田川改修工事により、河道はまっすぐに整備されたが、流路は大きく迂回して金津の方へ流れている。



また、昭和三十三年の乗兼区での堤防決壊による大水害を最後に氾濫はなくなった。

近年は県の三国土木事務所によって河道整備や堤防内の草刈りや堤防のアスファルト舗装などが進められていて、河川の景観もよくなっ

た。

また、昔から地区の人々による水害防止のための様々な取り組みの歴史（玄女区「いばら堤」、千田、堀水区の「間島川付け替え工事」などを調べて記録に残しておくことが必要だと思ふ。

（文責 水崎亮博）